

第5学年国語科学習指導案

- 1 単元名 人間の生き方をえがいた作品を読もう
教材名 「マザー・テレサ」 真鍋和子（東京書籍 小学校5年下）

2 単元とその指導について

(1) 教材観

本教材文は、マザー・テレサの伝記である。3つの大きなまとまりで構成され、さらに9つの小さなまとまりに分かれる。マザー・テレサを知っている児童は数名いたが、マザー・テレサがどのようなことをした人なのか、どういう人なのかを知らない。この教材文を通じて「今も人々のなかに生きている」マザー・テレサの思い「貧しい人は神様と同じ」「貧しい人は美しい」という生き方、考え方にふれることは、まだ、自分自身だけのことを考えがちな児童にとって、有意義な経験になるものと考えられる。そのため、単元を通して児童にマザー・テレサの生き方や、考え方を捉えることができるように、しっかりと指導していきたい。

(2) 児童観

説明文教材『動物の体』の学習によって、文章の要旨にかかわる言葉を取り出しながら読み取り、各場面にタイトルを付けていくことを経験してきた。また、文学教材『ちかい』の学習では、主人公の心情の移り変わりを場面ごとに読み取り、短歌形式(五七五七七形式)でまとめることを経験した。また、文学教材『大造じいさんとガン』の学習では、伏線となる場面、クライマックスの場面と取り上げながら読み取っていった。その後、主人公の心情の移り変わりの分かる言葉を取り出しながら、『～大造じいさん』と、主要場面にタイトルを付けることができた。これらの学習を通して児童は、文章の中から課題に当てはまる言葉を取り出し、表現方法に合わせてまとめることができるようになってきた。しかしながら、文章全体をとらえた活動ではなく、場面ごとをとらえた活動のため、文章を全体的に捉えた経験が少なく、教材全体を読み取る力が十分についていない。

(3) 指導観

指導に当たっては、この単元を読解中心の授業として進めていき、マザー・テレサの生き方や、考え方を、抽出した場面ごとに捉えていく。そしてその後、文章全体を捉えていくために『マザー・テレサ』インタビュー(架空)記事にまとめる。読み取りに当たっては、マザー・テレサの生き方や、考え方が分かる言葉(大切な言葉)に着目し、段落のまとまりごとに、短歌を考えさせていく。最後には全文を通しての短歌を考えさせる。教科書から言葉を探し出してから、短歌を作ることにより、本文の内容から逸脱しない短歌を作ることができる。探した言葉には、自分なりの理由をきちんと付けることで、言葉への思いを高める。また、言葉を探す1人活動や、短歌を作る話し合い活動に観点を示すことにより活動の助けとし、自信をもって取り組むことができるようにする。

(4) 言語活動について

ア 短歌に書き換える

選んだ言葉を基に、マザー・テレサの生き方、考え方の分かる短歌を作る。

言葉の数の制約があるので、1つ1つの言葉を吟味して考えるようになる。

イ 話し合い活動

各グループで、選んだ言葉を基に、マザー・テレサの生き方、考え方の分かる短歌を作る。
観点を基に話し合いを進めるので、話し合いを焦点化しやすく言葉についての考えを深めることができる。

ウ インタビュー記事作り

記者、マザー・テレサの二役になり、インタビュー記事を作る。
視点を変えて考えることにより、作品の内容により迫ることができる。
マザー・テレサの生き方・考え方を再び考え直すために、本文にもう一度戻って考える必要性が生じ、客観的な視点で書かれていることを読み取ることができる。

3 単元の指導目標

- (1) 伝記に書かれた人物の生き方や考え方を読み取ることができるようにする。
- (2) 伝記を読み、考え方や、生き方など読み取ったことを、インタビュー記事にまとめることができるようにする。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	ア 伝記など事実に基づいた物語に興味をもって読もうとしている。 【「C 読むこと」 内容(1) ア】
話す・聞く能力	イ 紹介する本の感想や、読んで考えたことを整理して話している。 【「A 話すこと・聞くこと」 内容(1) ア イ】
書く能力	ウ 紹介する伝記の内容が読み手に伝わるように、インタビュー記事を作っている。【「B 書くこと」 内容(1) ア イ】
読む能力	エ 叙述に即して伝記に描かれたマザー・テレサの行動や考えを読み取っている。【「C 読むこと」 内容(1) イ】

5 単元計画(全10時間 本時7/10)

時	主な学習活動	教師の指導・支援	評価とその方法
1	初発の感想を書き、感想を交流する。	マザー・テレサの生き方や、考え方に目を向けさせ、初発の感想を書かせる。	・マザー・テレサの生き方や考え方に目を向けている。【ワーク、発言】
2	難解語句について調べる。 単元の進め方について知る。	本文を9つの場面に分け、この中から選んだ場面を、短歌にまとめることを知らせる。	
3	それぞれの場面を、大切な言葉を基に短歌にまとめる。	これからの学習が、選んできた言葉を基にマザー・テレサの生き方・考え方を短歌にまとめることを理解させ、学習の見通しをもたせる。	・場面ごとの、マザー・テレサの生き方、考え方を表す言葉を観点を基に選ぶことができる。【ワーク、発言、話し合い】 ・選び出した言葉に、なぜ選んだのか自分なりの理由を考え、書くことができ
4			
5			

<p>6 本時</p>	<p>短歌の内容 話し合いの様子などを紹介し合う。</p> <p>活動の振り返りを書く。</p>	<p>言葉を選ぶとき、話し合いの時に観点を与え、考える手助けにさせる。</p> <p>児童から生まれた観点は、随時付け加えていく。</p> <p>話し合いにすべての児童が、真剣に参加するように、発表者はその都度決めていく。</p> <p>話し合い活動を振り返りカードに記入させる。</p> <p>これまでの観点を生かしながら、短歌にまとめさせる。</p> <p>これまでの活動全体を振り返りカードに記入させる。</p>	<p>る。【ワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動において、自分の考えを積極的に発言している。【観察、ワーク】 ・話し合い活動を振り返り、まとめることができる。【ワーク、発言、話し合い】 ・観点を基に、活動を振り返ることができる。【ワーク】
<p>8</p>	<p>全体を通して、大切な言葉を基に短歌にまとめる。</p> <p>短歌の内容 話し合いの様子などを紹介しあう。</p> <p>活動の振り返りを書く。</p>	<p>これまで選んできた言葉を基に、文章全体を短歌にまとめることを知らせる。</p> <p>児童から生まれた観点は、随時付け加えていく。</p> <p>話し合いにすべての児童が、真剣に参加するように、発表者はその都度決めていく。</p> <p>話し合い活動を振り返りカードに記入させる。</p> <p>これまでの観点を生かしながら、短歌にまとめさせる。</p> <p>これまでの活動全体を振り返りカードに記入させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の、マザー・テレサの生き方、考え方を表す言葉を観点を基に選ぶことができる。【ワーク、発言、話し合い】 ・選び出した言葉に、なぜ選んだのか自分なりの理由を考え、書くことができる。【ワーク】 ・話し合い活動において、自分の考えを積極的に発言している。【観察、ワーク】 ・話し合い活動を振り返り、まとめることができる。【ワーク、発言、話し合い】 ・観点を基に、活動を振り返ることが出る。【ワーク】
<p>9 10</p>	<p>マザー・テレサへのインタビュー記事を作り、紹介し合う。</p>	<p>これまでの学習を基に、記者とマザー・テレサの二役になりインタビュー記事を作る。</p> <p>マザー・テレサ以外の伝記の本を読む活動につなげ、その作品も短歌にまとめて紹介するよう促していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マザー・テレサの生き方・考え方を大切にしながら、インタビュー記事を作ることができたか。【ワーク】 ・他の伝記作品を積極的に読み、紹介しようとしている。【発言、観察】

<p>終末</p>	<p>4 グループで話し合った短歌を紹介し合う。</p> <p>5 振り返りを書く。</p>	<p>話し合う時の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場面全体を，表した言葉になっているか。 ・ 短歌に入れた言葉を選んだ理由が，みんなに納得できるように説明できるか。 <p>本文から読み取った大事だと思う言葉を吟味し，表現様式に合わせた書き方になっているか考えさせる。(言語活動にかかわって)</p> <p>短歌に「テレサの心は，今も人々の中に生きている。」がふくまれ，自分の言葉でつないでいる。</p> <p>短歌に「テレサの心は，今も人々の中に生きている。」がふくまれている。</p> <p><指導支援></p> <p>観点を基に，もう一度考えさせる。</p> <p>前回の短歌でよかったところを振り返らせる。</p> <p>各グループから決まった短歌を紹介させる。その時に決定した理由や，話し合いの様子なども発表させる。</p> <p>どのグループの短歌がいいか，発表させる。</p> <p>短歌にまとめるときに，うまく意見を出せたことや，参考になった意見などを振り返らせる。</p>
-----------	--	--